



## 2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年8月8日

上場会社名 東洋紡株式会社

上場取引所 東

コード番号 3101 URL <https://www.toyobo.co.jp/ir/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 竹内 郁夫

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 コーポレートコミュニケーション部長 (氏名) 石丸 園子 TEL 06-6348-3044

配当支払開始予定日 -

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：有（証券アナリスト、機関投資家向け）

(百万円未満四捨五入)

### 1. 2025年3月期第1四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	105,175	8.4	3,089	-	2,015	-	784	-
2024年3月期第1四半期	97,058	△3.9	△85	-	△317	-	△508	-

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 4,472百万円 (90.8%) 2024年3月期第1四半期 2,344百万円 (△78.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	8.90	-
2024年3月期第1四半期	△5.77	-

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期第1四半期	611,540	230,789	32.1	2,226.07
2024年3月期	606,990	230,087	32.5	2,236.50

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 196,108百万円 2024年3月期 197,033百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	-	0.00	-	40.00	40.00
2025年3月期	-	-	-	-	-
2025年3月期(予想)	-	0.00	-	40.00	40.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	435,000	5.0	17,000	89.0	11,500	65.2	2,600	5.9	29.51

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無  
新規 ー 社 (社名)、除外 ー 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期1Q	89,048,792株	2024年3月期	89,048,792株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	952,606株	2024年3月期	949,992株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年3月期1Q	88,096,862株	2024年3月期1Q	88,089,714株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料は、TDnetで同日開示するとともに、当社ウェブサイトにも掲載しています。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	9

## 1. 経営成績等の概況

### （1）当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く事業環境は、米国では政策金利が据え置かれる中、経済活動は底堅い個人消費に支えられ堅調に推移しました。中国では不動産不況の長期化や消費の低迷により景気が減速しました。国内においては、インバウンド需要の増加や設備投資の拡大により、景気は緩やかに回復しました。今後、原燃料価格の高止まり、長期化する中国の景気減速、米国の金利引き下げの遅れが、経済活動に影響を及ぼすことが懸念されます。

こうした事業環境のもと、セラミックコンデンサ用離型フィルム、包装用フィルムは、荷動きは緩やかに回復しましたが、本格的な需要の回復には至りませんでした。一方、液晶偏光子保護フィルム“コスモシャインSRF”、リチウムイオン電池セパレータ製造工程で使用されるVOC回収装置は堅調に推移しました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は前年同期比81億円（8.4%）増の1,052億円となり、営業利益は31億円（前年同期は営業損失1億円）、経常利益は20億円（前年同期は経常損失3億円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は8億円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失5億円）となりました。

セグメント別の概況は、次のとおりです。

#### （フィルム）

包装用フィルム事業では、流通在庫の調整が完了し、荷動きは緩やかに回復しましたが、コスト上昇の影響を受けました。

工業用フィルム事業では、セラミックコンデンサ用離型フィルムはサプライチェーン全体の在庫調整は完了しましたが、本格的な需要回復に至らず低調となりました。液晶偏光子保護フィルム“コスモシャインSRF”は強い需要に牽引され堅調に推移しました。

この結果、当セグメントの売上高は前年同期比31億円（8.0%）増の421億円、営業利益は同3億円（21.2%）増の15億円となりました。

#### （ライフサイエンス）

バイオ事業では、診断薬用原料酵素は欧米向けを中心に堅調に推移しましたが、生産能力増強に伴う費用が増加しました。

メディカル事業では、人工腎臓用中空糸膜の需要は堅調に推移しましたが、一貫生産工場の立上げ費用が増加しました。

医薬品製造受託事業は、FDAからのWarning Letterが解除されたことにより、収益性が改善しました。

この結果、当セグメントの売上高は前年同期比1億円（0.8%）減の81億円となり、営業利益は同10億円（72.2%）減の4億円となりました。

#### （環境・機能材）

樹脂・ケミカル事業では、エンジニアリングプラスチックは、北米向け自動車用途の販売が拡大しました。水現像型感光性印刷版用途の光機能材料は、中国、欧州向けの販売が堅調でした。

環境・ファイバー事業では、環境ソリューションは、リチウムイオン電池セパレータ製造工程で使用されるVOC回収装置の販売が増加しました。高機能ファイバーは、“ツヌーガ”が耐切創手袋用途において需要が回復しました。不織布マテリアルは、自動車用途の需要が回復しました。

この結果、当セグメントの売上高は前年同期比31億円（12.3%）増の281億円、営業利益は13億円となりました（前年同期は営業損失7億円）。

（機能繊維・商事）

衣料繊維事業では、中東向け特化生地は、堅調な需要により販売を伸ばしました。加えて、国内生産拠点の集約などの事業構造改革により、収益性が改善しました。

エアバッグ用基布事業では、製品価格の改定が進み、収益性が改善しました。

この結果、当セグメントの売上高は前年同期比19億円（8.5%）増の240億円、営業利益は2億円となりました（前年同期は営業損失7億円）。

（不動産、その他）

当セグメントでは、不動産、エンジニアリング、情報処理サービス、物流サービス等のインフラ事業は、それぞれ概ね計画どおりに推移しました。

この結果、当セグメントの売上高は前年同期比1億円（3.4%）増の29億円、営業利益は同1億円（21.2%）増の5億円となりました。

（2）当四半期の財政状態の概況

資産、負債及び純資産の状況

総資産は、前年度末比46億円（0.7%）増の6,115億円となりました。これは主として現金及び預金や受取手形及び売掛金が減少した一方で、設備投資により有形固定資産が増加したことによります。

負債は、前年度末比38億円（1.0%）増の3,808億円となりました。これは主として支払手形及び買掛金が減少した一方で、借入金が増加したことによります。

純資産は、配当金の支払などにより利益剰余金が減少した一方で、為替換算調整勘定や非支配株主持分などが増加したことから、前年度末比7億円（0.3%）増の2,308億円となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の当社グループの連結業績は、概ね予想通りに推移しており、2025年3月期通期の連結業績予想については、2024年5月13日に発表しました予想から変更は行っていません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	33,796	31,812
受取手形及び売掛金	87,743	84,454
契約資産	140	234
電子記録債権	14,921	15,537
商品及び製品	69,996	66,939
仕掛品	20,566	21,299
原材料及び貯蔵品	31,421	32,804
その他	15,488	15,457
貸倒引当金	△337	△393
流動資産合計	273,733	268,144
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	64,575	72,769
機械装置及び運搬具（純額）	59,855	65,404
土地	91,049	90,987
建設仮勘定	53,025	47,408
その他（純額）	12,972	13,864
有形固定資産合計	281,475	290,432
無形固定資産	4,670	4,808
投資その他の資産		
その他	48,380	48,252
貸倒引当金	△1,268	△96
投資その他の資産合計	47,112	48,157
固定資産合計	333,257	343,396
資産合計	606,990	611,540

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	49,782	43,436
電子記録債務	4,229	4,775
短期借入金	68,385	74,765
1年内償還予定の社債	15,000	—
1年内返済予定の長期借入金	13,069	16,817
引当金	5,308	2,983
その他	28,375	44,873
流動負債合計	184,148	187,649
固定負債		
社債	60,000	60,000
長期借入金	85,637	86,565
再評価に係る繰延税金負債	18,762	18,762
役員退職慰労引当金	274	188
環境対策引当金	11	11
退職給付に係る負債	15,901	15,918
その他	12,171	11,658
固定負債合計	192,755	193,103
負債合計	376,903	380,751
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	51,730	51,730
資本剰余金	33,187	32,501
利益剰余金	70,315	67,610
自己株式	△1,006	△1,006
株主資本合計	154,227	150,836
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,801	2,073
繰延ヘッジ損益	△1	13
土地再評価差額金	40,603	40,603
為替換算調整勘定	△548	1,570
退職給付に係る調整累計額	951	1,014
その他の包括利益累計額合計	42,806	45,272
非支配株主持分	33,054	34,681
純資産合計	230,087	230,789
負債純資産合計	606,990	611,540

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	97,058	105,175
売上原価	77,991	82,082
売上総利益	19,066	23,093
販売費及び一般管理費	19,151	20,004
営業利益又は営業損失(△)	△85	3,089
営業外収益		
為替差益	1,102	444
その他	339	592
営業外収益合計	1,441	1,036
営業外費用		
支払利息	302	429
その他	1,370	1,681
営業外費用合計	1,673	2,110
経常利益又は経常損失(△)	△317	2,015
特別利益		
関係会社株式売却益	—	360
投資有価証券売却益	—	2
特別利益合計	—	362
特別損失		
固定資産処分損	314	295
持分変動損失	212	—
特別損失合計	526	295
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△843	2,082
法人税等	271	467
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,114	1,614
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△606	831
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△508	784

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,114	1,614
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	243	270
繰延ヘッジ損益	109	△6
為替換算調整勘定	2,891	2,235
退職給付に係る調整額	134	63
持分法適用会社に対する持分相当額	80	297
その他の包括利益合計	3,458	2,858
四半期包括利益	2,344	4,472
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,627	3,297
非支配株主に係る四半期包括利益	△283	1,176

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

## I 前第1四半期連結累計期間(自2023年4月1日 至2023年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	フィルム	ライフサイ エンス	環境・機能 材	機能繊維・ 商事	不動産	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	38,983	8,145	24,977	22,154	1,034	95,293	1,765	97,058	—	97,058
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	551	2	2,287	229	266	3,334	4,538	7,872	△7,872	—
計	39,534	8,147	27,264	22,383	1,299	98,627	6,303	104,930	△7,872	97,058
セグメント利益 又は損失(△)	1,241	1,353	△662	△728	437	1,640	△37	1,603	△1,688	△85

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建物・機械等の設計・施工、情報処理サービス、物流サービス等の事業を含んでいます。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,688百万円には、セグメント間取引消去△632百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,056百万円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない基礎的研究に係る費用です。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っています。

## II 当第1四半期連結累計期間(自2024年4月1日 至2024年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	フィルム	ライフサイ エンス	環境・機能 材	機能繊維・ 商事	不動産	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	42,104	8,080	28,057	24,041	1,056	103,338	1,837	105,175	—	105,175
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	518	5	2,009	313	300	3,145	2,405	5,550	△5,550	—
計	42,622	8,085	30,065	24,355	1,356	106,483	4,242	110,725	△5,550	105,175
セグメント利益	1,504	375	1,273	199	478	3,829	6	3,835	△746	3,089

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建物・機械等の設計・施工、情報処理サービス、物流サービス等の事業を含んでいます。
2. セグメント利益の調整額△746百万円には、セグメント間取引消去234百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△981百万円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない基礎的研究に係る費用です。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む）は、次のとおりです。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	4,514百万円	5,601百万円